

平成29年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより
平成30年1月17日(水) 第14号
発行責任者 校長 石田 秀喜

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ!~>

23年前のあの日に ^は思いを馳せる

- ◆ 夫も妻も、下敷きになった。手を握り合って助けを待った。夫の声が聞こえた。「おれは、だめかもしれへん。子どもたちをたのむ。おまえは三途の川を渡るなよ。」二人とも救助されたが、夫は死亡。41歳。



- ◆ がれきの山の中から、3歳の娘が泣きじゃくる声がした。かぶさるように、「パパがもうすぐ助けるよ。」と、33歳の父親の声もした。救助活動をしていた人が、娘を抱きかかえている父親の姿が、すきまから見えた。やがて父親の声が絶えた。娘も救出されたが病院に運ばれる途中亡くなった。
- ◆ 最初の揺れが去ったあと、いくつもの地区が火に包まれた。73歳の父親が、下半身ががれきにはさまれた。子どもたちが両手を思い切り引っ張った。火が迫ってきた。父親はおだやかに言った。「もう行け、もう行け」。。。。。

23年前の1995年の1月17日午前5時46分、あの阪神・淡路大震災が起き、死者6,434名の尊い命が奪われました。そしてその16年後の2011年3月11日午後2時46分に東日本大震災が。。。。。

突然おそって来る自然災害の恐ろしさ。そして、逝った人たちの無念さと残された人たちの深い悲しみ。あの日に思いを馳せ、改めて命の尊さを子どもたちに伝えたい。

「まとめと準備の3学期」進行中！！



3学期は、1年間の学習のまとめとともに、新年度に向けての準備の学期です。「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言われるとおり、あっという間に過ぎていきます。授業日が52日間の3学期も、残すところ45日間となっています。それだけに、一日一日を大切にしながら、計画的に学習面・生活面でまとめと準備を進めていきます。

また、始業式の中でも話しましたが、「1つ上の学年の人の中で、自分もあの人のようになりたいと思える目標にしたい人を見つけましょう。」という話をしました。

学習面、運動面、生活面など様々な面で個性を發揮し、がんばっている「ほおの木っ子」がたくさんいます。子どもたち同士が、互いのよさやがんばりを認め合い、学び合う態度を持たせていきたいと考えています。

そんな中、今後心配されるのはインフルエンザの流行です。現在までの状況は、以下の通りで、まだ流行とまではいいませんが、とにかくうがい・手洗い・換気を学校でも家でも油断せず実行し、予防に努めていきます。ご協力をお願いいたします。

日・曜	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	15日(月)	16日(火)	17日(水)
罹患者	4名	3名	3名	1名	3名	2名	3名